

令和元年 12 月 2 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和元年 12 月 2 日 (月曜日)

午前 9 時から午前 11 時まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委員 鷲尾 達雄 委員 青柳 由美子
委員 大久保 真紀 委員 荒木 正

4 職務のため出席した者

教育部長	小池 隆宏	子ども未来部長	波多 文子
教育総務課長	曾根 徹	教育施設課長	遠藤 雄一
学務課長	笠井 晃	学校教育課長	中山 玄
学校教育課主幹兼管理指導主事	高橋 和久	学校教育課主幹兼管理指導主事	神林 俊之
学校教育課主幹兼管理指導主事	丸山 巧	中央図書館長	山田 あゆみ
科学博物館長	小熊 博史	子ども家庭課長	田中 剛
保育課長	田辺 亮	青少年育成課長	斎藤 裕子
スポーツ振興課長	野口 仁	青少年育成課長補佐	菊地 希典

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	安達 紀子	教育総務課長補佐	植村 裕
教育総務課庶務係長	佐藤 裕	教育総務課主事	高橋 奏

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 49 号	令和 2 年度当初予算の要求について

7 会議の経過

(金澤教育長) これより教育委員会 12 月定例会を開会する。

◇日程第 1 会議録署名委員について

(金澤教育長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、青柳委員及び大久保委員を指名する。

◇日程第 2 議案第 49 号 令和 2 年度当初予算の要求について

(金澤教育長) 日程第 2 議案第 49 号 令和 2 年度当初予算の要求について を議題とする。これについては公表前であるので、非公開が適当ではないかと思うが、他の委員の方々はいかがか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(金澤教育長) では、非公開とする。

————— 会議規則第 20 条第 2 項の規定により記録中止 —————

(金澤教育長) 非公開はここまでとする。

(金澤教育長) 以上をもって、本日の議案の審議については終了した。

(金澤教育長) 次に、協議報告事項に移る。令和4年度以降の長岡市成人式の実施について、事務局の説明を求める。

(菊地青少年育成課長補佐) 令和4年度以降の長岡市成人式の実施について、説明する。民法上の成年年齢を18歳に引き下げることを定める「民法の一部を改正する法律」が成立し、令和4年4月1日から施行されることに伴い、今後の長岡市成人式の開催方法を決定するものである。対象年齢、実施時期は現行どおりとするが、式典名称は変更する予定である。理由として3つある。1つ目は、20歳で成人を祝う伝統が市民に定着していることや、今後も飲酒や喫煙は20歳から認められていることから、20歳が成人としての自覚を促す節目として理解が得られやすいためである。2つ目は、18歳での開催は、高校卒業後に大学進学や就職して新生活を迎えた直後となり、家庭の経済的負担の増加や参加者の減少が危惧されるためである。3つ目は、20歳での開催は、進学や就職などで市外に転出した人が式典を機に帰省し、同級生と再会したり故郷の良さを再認識する良い機会となり、将来のUターンを意識することが期待されるためである。県内の状況として、20歳で決定済みの市は、新潟市、糸魚川市、南魚沼市、見附市の4市である。検討中という市は、五泉市、阿賀野市、上越市の3市である。18歳で検討しているのは、佐渡市と関川村の2市村であった。長岡市が平成30年11月に実施した小学生の保護者と中高生本人を対象とした調査では、2022年以降18歳になった時を希望すると回答した小学生の保護者は22.1%、中高生本人は39%で、20歳になった時と回答した小学生の保護者は70.4%、中高生本人は54.9%という結果になった。次に、平成30年12月に実施された日本財団18歳意識調査では、800人の回答があり、20歳と回答したのが74%、18歳と回答したのが23.9%であった。次に、6月に実施した成年年齢引き下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議・成人式の時期や在り方等に関する分科会による開催時期・年齢についての調査では、18歳は2団体の3%、19歳は1団体の1.5%、20歳は61団体の91%、21歳は3団体の4.5%という結果であった。そして、長岡市呉服組合の二十歳の祝典国民推進会議から、民法改正にかかわらず、現行の20歳で成人式式典を挙行されるよう市長に要望があった。

(金澤教育長) 質疑・意見はないか。

(金澤教育長) 次に、附属機関等会議報告について 事務局の説明を求める。

(野口スポーツ振興課長) 11月25日に開催した令和元年度第1回長岡市スポーツ推進審議会の報告をする。審議会では、現在長岡市とスポーツ協会で作成している少年スポーツ活動ガイドラインについて、内容の協議を行った。少年スポーツ活動ガイドラインとは、長岡市のスポーツの目指す方向を示したもので、少年団など主に小学生を対象にしたものである。意見を出し合ったものをまとめ、12月5日に公表となる。内容としては、プレイヤーやコーチ、親、競技団体など様々な立場から、どういう方向を目指せばよいかを記載している。委員からは、このガイドラインでは、みんなで一緒に目指していこう、プレイヤーは相手を思いやろうというような、具体的なことが示されていて非常に良いという意見や、ガイドラインを作ることを目的にせず、うまく活用し今後の子どもたちのスポーツをよいものにしてほしいという意見があった。その他の内容として、令和元年度スポーツ団体への補助金交付についての報告、令和元年度オーストラリアホストタウン事業についての報告、台風19号で信濃川河川敷スポーツ施設が被害に遭ったため、被害内容と今後の修繕計画について報告した。

(金澤教育長) 質疑・意見はないか。

(金澤教育長) 少年スポーツ活動ガイドラインは、スポーツの羅針盤、要するに方向を指し示すものであり、守らないから罰則規定があるものではない。

(鷲尾委員) アマチュアスポーツ協会の理事長が長期にわたり在籍することで、誰も干渉できない絶対的な立場になるという問題が起こっている。長岡市ではないのか。

(野口スポーツ振興課長) ない。ガイドラインには、組織の立場として威圧的にならない、ラグビーの精神のように特に相手を思いやるといった指針も書いてある。今後そういう方が出ないようにするためにも、方向性を記載したものができたと思っている。

(金澤教育長) 他に質疑・意見はないか。

(金澤教育長) 以上で、協議報告事項を終える。

(金澤教育長) 次に、催し案内等について補足説明のある者は挙手願う。

(小熊科学博物館長) 12月3日から雪華図案の世界を、科学博物館の企画展示室

で開催する。冬の季節にあわせて、衣食住にまつわる身近な品物にデザインされた雪結晶模様を紹介し、雪への関心を高めてもらう。雪の結晶は約 120 種類あり、科学的な側面から紹介したいと企画し、展示を行うものである。次に、縄文石器入門～縄文石器の特色をさぐると題し、11 月下旬から 3 月 15 日まで馬高縄文館で開催する。長岡市内や科学博物館で貯蔵している縄文時代の石器を展示するものであり、毎年冬の期間に行っている企画である。

(田中子ども家庭課長) 子育ての駅の 12 月号については、季節のイベントとしてクリスマス会の内容等になっている。

(金澤教育長) 他に報告事項はないか。

(金澤教育長) 以上で本日の定例会を閉会する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員